

なぜか感じるこのやりがい

東部小・6 伊藤 秀

始めは 不服だ

この服と足のよごれが不服

この足の裏のじんじんが不服

始めは とても 不服だ

技の始めは 不服なよごれ

それがじわじわとやりがいのよごれに変わる
この足の裏のじんじんもやりがいの痛みに変わる

最後の技は 体の全体に重みが走り

苦しいが 周りのはく手が耳にひびく
やってよかった と感じる

家族 先生たちがいつせいにぼくたちを見る

不服 じんじんが ぼくの中から
一気になくなる

最後は やりがいだ

組体操 不服がやりがいに変わる

なぜか感じるこのやりがい